

## ～院長コラム～

### 『救急車の乗り心地』

良いわけではないです。  
患者さんの搬送で何度も同乗した経験はあります。  
保育器に入っている赤ちゃんの顔色を見ながらとか、進行方向とは違う向きで処置しながらとか、は結構つらいです。  
以前大分県で産科、小児科病院に応援に行った時です。  
毎日4人、5人と新生児が生まれます。  
すると調子の悪い子もいるわけです。  
元気がない、心雑音が著明、チアノーゼが目立つ、呼吸が弱い、、、。  
こちらも必死です。  
1人常勤ですから、すべて1人でやります。  
当時の大分の県立病院、あるいは大学病院の新生児科に連絡をとってから、個人病院の救急車で国道をひた走ります。  
受け入れ側も救急車で出発して、国道上で出会ったところで、両車の後ろをくっつけて赤ちゃんを引き渡します。  
本当にヒヤヒヤでした。  
運よく急変せずに専門医にお願いできたことにホッとしたものです。  
帰ります。  
救急車酔いして気持ち悪いです、頭が痛いんです。  
救急車内で自分で自分に点滴をして、応援先の病院まで戻りました(ゲーゲー)。  
そんなこともあったですよ。

「子ども健康ネットブログ」より



なかしま子どもネット QRコード  
※名前を入力して送信して下さい



子ども健康ネットブログ  
QRコード

なかしま子どもクリニック



# 通信

## 2018年6月号

なかしま子どもクリニック 瑞穂市十九条(パロー北)

ホームページ [www.n-kodomo.com](http://www.n-kodomo.com)

診療時間		月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	
午後	14:00~15:00		△		★	△		
	16:00~18:30	○	○			○		

★:漢方外来 14:00~17:30 受付    △:乳幼児健診及び予防接種



TEL:058-327-3100

2015年5月11日～  
診察・予防接種  
インターネット予約  
QRコード

